

●市内には、国指定、県指定、彫刻、古文書、工芸品、考古遺物等の数多くの貴重な文化財を保有しています。現地に存在しているものを除き、その他の文化財は、適切な保管施設がないため、市内外各所に分散保管されており、貴重な文化財を十分活用する機会が皆無に近い現状です。

この分散保管されている文化財を集約・適正に保管し、市民が郷土愛の高揚と市の発展に繋がるものとして「郷土資料館」の整備をされるよう要望します。

(70代・男性)

●昨今、生徒数減少に伴う小中学校の適正配置実施計画が策定されているが、私感では運営側の都合が色濃く出ているようである。未来を担う生徒のことを考え、もう少し踏み込むべきではないかと思う。全国学力テストで茨城県が下位にいる状況からも、小中一貫教育、少人数学級等の対策を同時に策定し学力向上に努めなければならぬ。方法として施設分離型(連携型)と施設一体型(併設型)があり、施設環境整備教職員の連携、生徒の異年齢交流、安全管理、PTA活動の一本化等と小中一貫教育のメリットを最大限に引き出すには併設型が望ましいと考

える。非常時に冷静な判断・行動ができるのも人次第、新たな産業を企業し地域を活性化するのも人である。

(40代・男性)

●私は行方市に住んで2ヶ月ほどになります。私の行方市の好きなどところは、畑や水田地帯が広

ちょっと一言!!

市民の言

広報委員が市民の皆さんに、行方市に寄せる思いをインタビューしました。



がったのどかな所です。作物の収穫や水田を耕すなど、のんびりとした姿がとても癒されます。また、子供達も元気です。横断歩道で信号待の時、挨拶をしてくれます。その挨拶一つでも私の元気の素になっていきます。最後に市長さんに震災でお忙しいと思いますが、傷んだ道路の復旧をどうぞよろしく

お願いします。(20代・女性)

●市政誕生から6年を迎え、市民が主役の愛情と誇りを持ち、市民参加と地域活性化が図られる市政を市民は期待しています。

それには、市民側に軸足を置き、透明で見える市政運営をお願いします。市議の皆様のご指導の基で、将来に向け「志」を持てる社会を市政に反映させるよう願います。

●少子高齢化による小中学校の統廃合等を耳にしますが、跡地利用を積極的に考える時だと思えます。世代のニーズに合う施設利用を提言し、私達の育んできた大切な地を20名の議員さんのお力添えで、3地区が共に活性化できるよう期待します。(60代・女性)

●社会人となり、働き始めて1年が過ぎました。最近仕事にも慣れ、休日によく外出するようになりましたが、ほぼ市外へと足が向いてしまします。休日に何か楽しいイベントがあれば・・・昔はよく町民運動会に参加していましたが、市民みんなが参加できるスポーツイベントがあれば楽しいかも知れません。ウオーキングみたいな簡単な運動であれば、運動不足な私の母も誘って、是非参加したいと思えます。(20代・女性)

編集後記

酷暑お見舞い申し上げます。温暖化の進行に因るためか、年毎に厳しさを増す夏の暑さにも負けずご清祥のことと存じます。

原発に頼らないための電力需要の縮小が求められ、節電に対する意識が高まりつつあります。電力に頼りきった日常生活は、結果的に原子力に依存していたことに気付かされました。

今、人類が創造し、制御しきれなくなった諸刃の刃の扱い方に重大な選択を求められています。何れ私達にも、少なからず、その責めを負う時が来るのかもしれない、震災とその脅威は警鐘に過ぎなかつたのかもしれない。

私たち議会は、決して、将来に禍根を残さない様、震災被害の復旧をはじめ山積した課題に、判断を誤ることのないよう、見識を広め、研鑽を積み、力を合わせ向き合ってください。ご指導ご鞭撻を賜れますよう宜しくお願い申し上げます。(栗原 繁)

広報委員会

- 委員長 高橋正信
- 副委員長 栗原 繁
- 委員 大原功坪 小林 久
- 委員 鈴木 裕 鈴木周也